

地域マリンビジョンフォローアップ委員会における各地域への指導・助言（1 / 2）

地 域	内 容
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・海業については令和4年度からの新たな取組なので、商工観との相互連携等、漁港を利用しながら色々な行事をやるといったことはどんどん記入してほしい。 ・漁港整備についての要望が上がっている地域が結構あったので、実現に向けてマリンビジョンの取組も頑張してほしい。 ・ブルーカーボンについて考えているところは具体化を進めてほしい。
遠別 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> ・取組について活動の停滞、会員の入れ替え、世代交代が進んでいないということであれば、活動的な方がいる他地域や民間企業等との情報交流や視察などで刺激を受けてくるということをしてはどうか。
苫前 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港内の水温、溶存酸素量のモニタリングという取組について、組織的に数値化して設備を作るところまで確立していただけると漁港事業でも支援できるところがあると思うため、その先進地として取組を続けてほしい。 ・ICT水質監視事業の取組について、事業の継続性や機械のメンテナンス資金については、町の補助だけでなくそのデータを使って稚貝を生産している漁業者にもある程度費用負担してもらおうことも考えていくと良い。
積丹 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から藻場造成や民間企業との連携で先進的な取組を行っているため、引き続きいろいろなことをやってほしい。 ・ブルーカーボンクレジット化など漁業所得の向上につなげていくためには、他地域も参考にしながら具体的な取組として整理すると良い。
寿都 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産庁の海業に関するモデル地区に関する取組として、マリンビジョンとうまく連携させて負担のかからない形で取組んでほしい。 ・海業に関してモデル地区に取り上げられたということは最先端を行っているということなので、ぜひマリンビジョンに取り組んでいる全道各地の方々に色々な情報を提供してほしい。
奥尻 (推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウニやアワビの増殖、ブルーカーボン、海藻の繁殖というのはそれぞれ関連しているので、これらの連携を考慮して計画を作ると良い。 ・マーケットインの情報収集という観点からも、実績のある函館の海藻関係の方たちともしっかり情報交換していくと良い。
松前江良 (推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄養や養殖をより本格的にやるのであれば、大島、小島、江良、松前の広域連携で機能分担し、計画的な施設整備として漁港の事業に取り入れると良い。
福島 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖や蓄養など、安定供給に向けた施設が必要ということなので、具体的な施設イメージを描ければ実現性は高いと思う。 ・福島漁港の白符地区では全天候型の船揚場を最初に作っており、その発展形として現在、積丹の美国漁港で全天候型の船揚場を作っているため、同様の施設を持っている地域と意見交換すると良い。
函館(白尻) (推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・「天然コンブ繁茂対策の実施」は技術的には色々難しいところはあると思うが、目標を立てて取り組んでほしい。 ・海業は漁港内に限らず地域全体で考えることや、次のマリンビジョン計画ではもう少し広域的な地域での取組も検討していくと南茅部の魅力が出てくると思う。
砂原 (推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・必要と考えられる施設に水産物販売施設等とあるが、新設した荷さばき所に関連して色々併設するというのも事業として考えられる。 ・マリンビジョン協議会の体制を見ると、町と漁協と各専門部会ということだが、砂原地域にはホタテの加工などを行っている会社もあるため、加工会社等と一緒にやるような形で取組を進めていけると良い。
室蘭 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> ・海業に関する新たな取組について、これに都市漁村交流等も含めることができれば海業のモデルとなれる地域だと思う。 ・追直には栽培水産試験場もあるので、是非一体的に取組をしてほしい。

地域マリンビジョンフォローアップ委員会における各地域への指導・助言（2 / 2）

地 域	内 容
登別・白老 (虎杖浜) (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 登別駅の新駅舎整備と時期をあわせて、朝市だけでなく他地域の取組も参考にしながら、体験漁業など色々と考えていくと良い。
三石 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業の取組で、食育に関しては女性部が熱心に協力しているため、もう少し女性部の活躍もPRしていただけると良い。
様似 (推進)	<ul style="list-style-type: none"> 陸揚量と陸揚金額の急減は赤潮等の影響が考えられるとのことだが、ナマコの種苗増養殖は今後を見据えて継続することなので続けてほしい。
大津 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 漁船修理施設の移転整備に関して、道内に鉄工所を持っている漁協もあるため、将来的には関連する事業者との共同管理や漁協の事業とするといったことも検討する必要がある。
厚岸 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理に関して力を入れているため、漁港内だけでなく流通業者等も含めたサプライチェーン全体に反映させていければ高度衛生管理型の水産物として売りになるのでこのまま進めてほしい。
根室(落石) (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 蓄養施設については、江良漁港にある岸壁が参考となる。 海業というのは色々と海で活動している現象を総称して呼んでいる。これから水産庁が海業について計画書を作って実行に移す段階で概念が確立していくのだと思っている。現段階では開発局の地域マリンビジョンは海業を全部包括した活動になっていると思う。一方、海業にある民間企業を積極的に受け入れるという観点はマリンビジョンにはないものの、地域振興や就業機会を作るなど地域全体で取り組む点では海業もマリンビジョンも同じである。
根室(齒舞) (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 昆布漁業体験インターンシップ制度について、漁業者と学生双方にメリットがある制度構築を目指しているということで非常に良いと思う。 いち早く海業という名前を使って海業支援施設という直販所や加工場を作り、体験漁業や市場見学を取り入れているが、全国では組合が主体事業者となって取り組む例があまりないため、こういう取組はどんどん宣伝していただくと非常に良い。
羅臼 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 海洋深層水については衛生管理以外にも、多面的な利用や多様な産業で利用していくという意味で海業の取組としておおいに活用できると思うため、いろいろと構想を練ってほしい。
ウトロ (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 鮭をコンセプトとしてすごく広がりのある取組をしているため、引き続き頑張ってください。
サロマ湖 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> サロマ湖における水質モニタリングシステムについて、サロマ湖地域以外の色々な漁港内で蓄養や養殖を行っているため取り入れたいという希望を聞いている。長年実施している先行地域として要望があった際にはご指導・助言していただきたい。
雄武 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> 漁業以外にも色々と活動されているため、もう少し見方を変えたら海業への取組として十分通用する。 ナマコの移植量が右肩上がりが増えていますが、港内での蓄養が盛んになると、漁港内蓄養としての将来的な漁港のデザインを考えていく必要がある。